

平成31年度(令和元年度) 授業改善推進プランの公表について

平素より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

本校では、1学期に実施した各学力調査の結果、及び授業の振り返りを踏まえ、この度、「平成31年度授業改善推進プラン」を作成し、公表いたします。

今後とも日々の授業改善に努め、児童の学力の一層の向上を図っていきます。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

学力調査等に見られる本校の学力の実態・傾向

○「東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」(現5年) 令和元年7月実施

本校の平均正答率は、社会においては東京都の正答率と同等で、その他の教科については都の平均をやや下回りました。特に、算数では都平均より約7%、理科では約5%下回り、より課題があるといえます。

《国語》・「話す・聞く」「書く」「読む」力を測る問題では都の平均を上回ることができています。しかし、「言語能力」を測る問題のみ都の平均を大きく下回り、国語全体としてみた時には都の平均を下回っています。漢字の読み書きの問題や主語、述語、修飾語についての問題の得点が低いので、知識を定着させる繰り返しの学習に加え、読書に親しむ活動などにも力を入れ、言語能力を高めていくようにします。

《社会》・4教科の中で都の平均と唯一同等の得点でした。「知識・理解」「技能」を問う問題で都の平均を上回ることができました。「思考・判断・表現」の力を問う問題では、やや都の平均を下回りました。地図やグラフ、文章から読み取ったことをどのように解釈し、社会の中でどう判断するのがふさわしいか等、普段の授業から考え、表現させるようにし、社会的なものの見方や考え方を身に付けられるようにします。

《算数》・算数の中でも「技能」を問われる問題で都の平均を8.4%下回っており、特に課題があるといえます。技能の問題では、計算力や、計算の方法を問う問題、面積を求める問題などがありました。これらの問題をより確実に解けるようにするために、繰り返し問題を解いたり、間違えたところはしっかりやり直して理解し直したりする練習を確実に行うようにします。

《理科》・「技能」「知識・理解」を問う問題の得点率が低く課題といえます。観察や実験を行う際には、その方法や注意するポイントなどについてより確実に理解できるよう授業を行います。また、一度覚えた知識も見直しをして忘れないように工夫します。

《質問紙》・質問紙調査から得点率と大きな関わりがあったものでは「学校のきまりを守ることが大切だと思いますか」の項目で「そう思う・どちらかといえばそう思う」と答えた児童は、そうでない児童に比べてどの教科でも得点率が高く、特に算数では17.8パーセントも得点率に差が見られました。生活のめあてをもたせ、規範意識を高められるよう働きかけます。

○「全国学力・学習状況調査」(現6年) 平成31年4月実施

6年生にとっては、昨年度の都の調査に続く2度目の調査でした。国語、算数のテストを行い、本校の結果は、国語、算数共に全国の平均をやや下回りました。

国語では、報告する文章を読み、調べた目的を問う問題や、分かったことをまとめて書く問題において、全国・都平均の両方を上回りました。しかし、「調査のたいしょう」を漢字に直す問題では、全国や都の平均を大幅に下回っており、日頃から漢字に興味をもたせ、できるだけ漢字を使って表現させるなど学んだ知識を定着させるよう工夫していく。

算数では答えを求めるための式を書く問題や棒グラフから分かることを選択する問題で、平均を上回ることができました。しかし、答えの求め方の説明を書く問題や、答えを選択した理由を書く問題等の正答率が低く、普段の授業でも自分の考えを表現させる場面を多く取り入れ改善を図る必要が見られました。

質問紙調査の結果から、「学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある」と答えた児童の割合が、全国・東京都の割合よりも約15%以上も多く、学級での活動が充実している様子が分かりました。一方、「学校のきまりを守っている」と答えた児童の割合は若干低く、規範意識をさらにのばす子供との関わり方を家庭と学校の両方で心がけていきます。

1. 立川市立第三小学校 授業改善推進プラン全体計画

【立川市教育委員会の4つの原則】

- 「確かな力」・・・確かな力の育成を図る教育の推進
- 「やさしい心」・・・自他の生命を尊重しやさしい心を育てる教育の充実
- 「個を輝かせ」・・・よさを伸ばし、個を輝かせる教育の充実
- 「社会のために」・・・生き方を考え、社会のために役立つとする意識を育む教育の充実

【学校教育目標】

国際社会に貢献できる日本人を育成するため、教育基本法の理念と人間尊重の精神を基調とし、よき自分らしさを生かし、生涯を通して生きる力を発揮する児童を育成する。

- ①よく考える子
- ②思いやりのある子
- ③健康でたくましい子

1. 児童の実態

- ・学習に意欲や関心をもって取り組む児童の割合が増えてきている。
 - ・成績は上位層・中位層の児童が増え下位層の児童が減ってきている。
- ## 2. 地域保護者の期待や願い
- ・確かな学力の育成
 - ・心身共に健康な児童の育成
- ## 3. 期待される子
- ・基礎的・基本的な力を身に付けた子
 - ・自ら考え、主体的に行動できる子

本校の考える確かな力の育成

- 学ぶ意欲
- 思考力・判断力・表現力
- 問題発見能力
- 課題発見能力
- 学び方
- 各教科における基礎・基本

【国語の授業改善のポイント】

- 日常的な辞書の活用で語彙を豊かにし、繰り返しの学習で配当漢字を定着させます。
- 文学的文章では、人物の心情を、描写を基に捉え、自分の考えをもつことができるように指導します。
- 説明的文章では、順序に気を付けて読んだり、要点を捉えたり、事実と意見の違いを押さえ、自分の考えをもつことができるように指導します。
- 相手や目的に応じて伝えたいことが伝わるように書いたり、話したりすることができるよう指導します。

【音楽の授業改善のポイント】

- 学習のねらいや活動の流れを提示し、児童が見通しをもって、主体的に取り組めるように指導します。
- 児童が自分らしく自信をもって表現できるようにさせます。

【社会の授業改善のポイント】

- 問題解決的な授業を行い、児童が主体的に調べたり考えたりできるように指導します。調べたことに対する自分の考えを表現することができるように指導します。
- 様々な資料から必要な情報を読み取り、取り出した情報の共通点や相違点を見付けることができるように指導します。
- 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える指導の充実を図ります。

【図工の授業改善のポイント】

- 学習のねらいや活動の流れを提示し、児童が見通しをもって、主体的に取り組めるように指導します。
- 空想の絵や見たものを自分なりの方法で表現したり、道具の正しい使い方を身に付けさせたりします。

【算数の授業改善のポイント】

- 数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせるように、三小タイムを中心にベーシックドリルに取り組ませます。
- 児童が問題場面を捉え、自分の考えを説明できるように、具体物や半具体物への置き換え、図や表を使って問題解決に取り組ませます。
- 「基準量・比較量・割合」の関係を「 $\text{比較量} \div \text{基準量} = \text{割合}$ 」「 $\text{基準量} \times \text{割合} = \text{比較量}$ 」など場面を設定し、確実に理解させるよう指導します。

【家庭科の授業改善のポイント】

- 製作や実習では、学習のねらいと最終的な目標を明確に示し、見通しをもって活動しながら、基礎的な知識・技能が身に付けられるようにします。
- 技能に関心をもち、意欲を高めるような題材を工夫します。
- 生活と結びついた題材を工夫します。

【理科の授業改善のポイント】

- 基礎的・基本的な知識・技能を定着させるように指導します。
- 身の回りの自然や科学的事象に興味・関心が向くように指導します。
- 観察、実験結果を根拠を示しながら予想したり、考察したりする指導の充実を図ります。

【総合的な学習の時間の授業改善のポイント】

- 課題解決に必要な資料を自分で見付けられるように見通しをもたせたり、資料から必要なことを読み取ったりできるように指導します。

【生活科の授業改善のポイント】

- 出来事や学習したことの中から「考えたこと・気付いたこと」を友達や身近な人と伝え合いながらまとめさせます。

【体育の授業改善のポイント】

- 運動に親しむ場や環境を工夫し、児童が運動の楽しさ、特性にふれるように指導します。

【外国語活動の授業改善のポイント】

- 身に付けさせたい言葉や表現などに繰り返し、触れさせます。
- ALTのサポートを受けながらも、外国語専科・担任が主体となり、学級の児童の実態に合った指導ができるようにします。

2. 学力向上を目指した本校の取組

様々な教育活動の充実

①保護者・地域等の教育力を生かした授業の推進・充実

(さらに、楽しく力が伸びる授業への改善)

②読書環境の整備と読書タイム・読み聞かせの充実

(豊かな心の育成、全ての学力の基礎を築く読書好きの子どもたちに！ 思考力・表現力の育成)

③教職経験者・教職大学院生・インターンシップ学生・学生ボランティアなどによる学習支援の推進・充実

(個に応じたきめ細やかな指導、学ぶ意欲と達成感)

④習熟度別指導による指導の充実

三小タイム(朝学習)や補習・にこにこ教室による基礎・基本の充実

(個に応じたきめ細かな指導、自己評価の活用)

学力向上のために、本校が大切にしている3つのこと

①人権教育の推進

◇全校で共通の約束(「学習のきまり」「言葉のやくそく」)を通して、学習規律を高めます。また、相手を尊重する態度を養い、互いに高め合う学習を進め、自己有用感・自己肯定感を高めます。

②教員の指導力・授業力の向上

◇教職員相互がそれぞれの指導技術や指導法を磨き合う場をつくります。教材研究を中心にOJT研修や、学年会等での研修によって授業改善に努めます。また、教室を開き、日常的に授業を参観し合います。

③家庭・地域との連携

◇家庭・地域と連携し、基本的な生活習慣の育成を目指します。家族同士・学校と家庭・地域との密接なコミュニケーションを通して健全な心を育成します。

3. 各学年の授業改善推進プラン

第1学年

教科	観点	児童の様子	改善のポイント
国語	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○9割の児童は、ひらがな50音が定着している。 ○「は」「を」「へ」などの助詞の正しい選択・表記が苦手である。 ○促音「っ」、拗音「ゃ」「ゅ」「ょ」の正しい表記が苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○繰り返しの学習の中で、定着させる。また、2学期以降はカタカナや漢字の学習が始まるので、同様に繰り返しの練習を通して、全員が定着を図れるよう指導する。 ○正しい表記で文が書けるよう、三小タイムや、普段のノート指導のなかで、定着させる。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○読み聞かせや読書に関心をもって取り組んでいる。 ○書かれていることを関係付けたり、登場人物の順序を押さえたりすることができる。 ○書かれている内容を理解したり、自分の言葉で表現したりする力が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、読み聞かせや図書の時間を通して、知識を得たり、楽しんだりするための読書指導を行う。 ○挿絵や写真などを手がかりに、繰り返しの学習することで、さらに定着を図る。 ○「確認発問」「広げる発問」「深める発問」など、思考がすっきりするよう発問を工夫する。
算数	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○数の大小関係、足し算、引き算の式の意味を理解している。 ○ブロックなどを使って10までのたし算・ひき算の計算は定着している。 ○10までのたし算・ひき算はほぼ定着してきているが不十分な児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「10までの数」を即座に分解・合成できるように、ブロック操作や指を使って練習する時間を確保し、計算力の定着を図る。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○文章問題から場面をイメージして立式をすることが苦手である。 ○問題の解決方法を図や絵で書いたり、話したりすることは、苦手とする傾向が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文章の中で数や大切な言葉に着目させ、具体物を操作して立式をできるように指導する。 ○具体物や図、絵を使って表現する問題を授業の中で取り入れる。 ○考え方や、式の意味、計算方法を自分の言葉で説明するような学習形態をとる。
生活	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○植物や生き物・自然に親しみ、関心をもち、積極的に関わろうとする気持ちをもっている。 ○友達と一緒に仲良く遊んだり、話し合ったりする活動を好む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然や友達と関わる活動の機会を多く設定し、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○活動を楽しみながら、それらを通しての自分なりの気付きをもっている。 ○自分なりに考えたり、工夫したりして活動することができる。 ○観察カードなどに絵や文章で表現することを苦手とする児童の割合が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思った通りに絵が描けなかったり、文章に表せなかったりする児童には、友達の表現や教科書の絵や文を参考に書かせたり、教師が聞き取って文章にしたりする。

音楽	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○体を動かしながら元気に歌ったり、鍵盤ハーモニカや打楽器を演奏したり、意欲的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、意欲的に学習に取り組めるよう、導入の工夫をする。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○友達の声や音を聴きながら、みんなで音楽をつくることができる。 ○拍の流れを感じ取ってリズム打ちしたり、情景を思い浮かべながら楽曲の気分を体で表現したりすることに個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○音を音楽にしていくことを楽しめるように、グループで合唱や演奏する時間を設定する。 ○歌詞について考えたり、雰囲気を感じたりしながら、豊かに曲想を感じられる場面を取り入れる。
図工	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○工作や絵を描くことは意欲的に取り組んでいるが、はさみやのりなどの用具の扱いは苦手な児童がい 	<ul style="list-style-type: none"> ○手を十分に働かせて、用具を使えるように基本的な取り扱いを指導し、たくさん体験させ

		る。 ○粘土の感触やできる形の面白さを楽しみながら、発想を広げ、表したいものをつくることができる。	る。 ○題材の提示方法や作例の示し方を工夫したり、友達の作品に触れたりして発想を広げられるようにしていく。
体育	知識 技能	○体を動かすことを好み、友達と楽しく運動することができる。 ○かけっこや鬼遊びなど走ることは好むが、持久力がない児童もいる。 ○器械・用具を使った遊びで、体を支えたり、ぶら下がったりする動きを苦手とする児童が多い。	○楽しく、運動量の多い体育学習の流れをつくり、継続していく。 ○遊びの中で基礎的な技能が身に付くよう、ポイントを押さえた指導を行うと共に、様々な場の設定を工夫する。
	思考力 判断力 表現力	○簡単な規則を守り、運動することができる。 ○表現・リズム遊びでは、友達の動きの良いところを見付けられる児童もいた。	○より楽しめる運動ができるように、規則を選択できる活動計画を設定する。 ○友達の動きの良さに気付けるように、動きの良さを示す視点を多く提示する。

第2学年

教科	観点	児童の様子	改善のポイント
国語	知識技能	○新出漢字や言葉に興味をもって学習しているが、学習内容の定着や語彙力に個人差がある。	○宿題やミニテストで、日常的に言葉の学習を習慣付ける。
	思考力 判断力 表現力	○読み聞かせや読書に関心をもって取り組んでいる。 ○簡単な構成を考えたり、文章のつながりを意識して文章を書いたりすることを苦手とする傾向がみられる。 ○書かれていることを関係付けたり、人物の心情を捉えたりすることや、読み取ったことから、自分の考えをまとめることを苦手とする傾向がみられる。	○引き続き、読み聞かせや図書の時間を通して、知識を得たり、楽しんだりするための読書指導を行う。 ○構成メモを書いたり、伝えたいことを明確にしたりしながら、文章を書くよう指導する。 ○「確認発問」「広げる発問」「深める発問」など、自分の考えがまとめられるよう、思考がすっきりするよう発問を工夫する。
算数	知識技能	○繰り上がりのあるたし算・ひき算の筆算については、ほぼ定着している。 ○単位換算などの基礎的な知識がまだ不十分である。	○引き続き、繰り返しの学習で定着を図る。 ○繰り返しの学習で定着を図る。
	思考力 判断力 表現力	○必要な情報を取り出したり、情報を整理したりする力に課題がある。 ○自分なりの方法で、考えを表現する力が不十分である。	○問題場面を具体物でイメージしたり、半具体物を操作したりして、演算決定をさせ、立式させる。 ○図、絵を使って考えを表現したり、操作活動を授業に取り入れたりしながら、自分の考えを説明する力を身に付けさせる。
生活	知識技能	○様々な人と交流したり、観察したりするなど、学習に意欲的に取り組んでいる。	○引き続き、社会および自然に対する児童の思い・願いや課題を大切にして、意欲的な活動をさせる。
	思考力 判断力 表現力	○調べたことや気付いたことを友達と話し合うなどしている。 ○観察カードに記録する際、予想や気付いたことを書くことができています。	○グループや学級全体の伝え合う活動を通して、新たな事実を発見させたり、事実同士のつながりや関連に気付かせたりする。 ○観察する際に、見る、聞く、嗅ぐ、触るなどの諸感覚を使って、何かにとえたりするなど、様々な表現をさせる。
音楽	知識技能	○音楽に対して興味・関心が高い。鍵盤ハーモニカ等の楽器に対する技能に自信のない児童も若干見られる。	○体の動き、声や音を通して表現する活動を取り入れ、楽しみながら体全体で表現できる工夫をする。 ○鍵盤ハーモニカ等の個別指導を取り入れる。
	思考力 判断力 表現力	○楽曲の気分を感じ取って聴いたり、音楽を形づくっている要素に気付いたりして、感じたことを言葉に表すことが難しい。	○児童が親しみやすい内容の歌詞やリズム、旋律をもつ教材を取り上げる。 ○聴く楽しさを味わわせるように、主な旋律を口ずさんだり、体を動かしたりして、感じ取らせるようにする。
図工	知識技能	○思いや願いをもって、絵の具、クレパス、はさみ、のり、テープを使って作品作りをしている。	○学習のねらいや活動の流れを提示し、見通しをもち、主体的に取り組めるよう工夫する。

	思考力 判断力 表現力	○様々な材料から必要な物を選んで、作品作りをしている。	○自分の表現で自分の表したいことを描いたり造形したりして、言葉をそえて伝えられるようにしていく。 ○様々な材料から、その素材のよさを生かした作品づくりをさせる。 ○児童作品を展示し友達の表現の良いところにふれさせる。
体育	知識 技能	○かけっこや鬼ごっこなど、楽しく行っている。ボール、縄跳び、跳び箱、マットなど多様な器具、道具を使って運動感覚を身に付けようとしている。 ○走る、投げる、捕る、回るなどの基礎的な技能が身に付いていない傾向がみられる。	○動きのポイントを理解させ、実践させる。また、日常的に楽しめる運動を授業で取り入れ、体力の向上を図る。 ○運動の特性を明らかにし、めあてをもたせて授業を行う。
	思考力 判断力 表現力	○運動を楽しく行えるために遊び方を工夫したり、規則を選んだりする力が十分ではない。	○自らのめあてをもたせ、意識させて授業に取り組むようにさせる。 ○ゲームは楽しく活動できるように、簡単な規則で行い、楽しくゲームができる場や得点の方法などの規則を選べるようにする。

第3学年

	観点	児童の様子	改善のポイント
国語	知識 技能	○新出漢字や言葉に興味をもち学習する児童が多いが学習したことの定着や語彙力の個人差が大きい。 ○大きな声で正しく音読できている。	○宿題やミニテスト、国語辞典の活用で日常的に言葉の学習を習慣付ける。
	思考力 判断力 表現力	○事柄の順序や内容のまとまりを意識して文章を書くことを苦手とする傾向がある。 ○文章の中から大事な言葉や文を書き抜くことができるが、自分の考えをまとめることが難しい。	○順序を表す言葉や簡単な文章構成を意識して、文章を書くよう指導する。 ○本文の言葉に着目し大事なことを押さえたり、考えを広げたり、自信をもたせたりする。
社会	知識 技能	○地図記号を正しく理解している児童が多い。 ○東西南北を理解しているが、日常生活での方位の理解が十分ではない。	○教室に東西南北を掲示し、地図を見る時は四方方位を確認させる。
	思考力 判断力 表現力	○見学や各種資料を使つての調べ学習に興味をもち取り組む児童が多い。しかし、調べて分かったことを自分の言葉で表現することに課題がある。 ○調べた事実同士をつなげて考えたり比較して考えたりして理解を深めることに課題がある。	○見学や各種資料を調べて分かったことを表現できるよう話形や発表の仕方を指導する。 ○調べてつかった事実同士を比較させたり関連付けたりする授業を行い理解を深められるようにする。
算数	知識 技能	○基本的な技能や知識の定着に差がある。 ○問題文を読み取る力が十分でない。意味がわからないために計算式を立てることができない。	○基礎的な技能や知識の習熟に重点を置き、計算力の定着を図る。 ○問題文のキーワードを中心に言葉の意味を理解させた上で式を立てさせる。
	思考力 判断力 表現力	○「計算のきまり」「計算のくふう」など立式理由が理解できないため課題解決を苦手とする傾向がある。	○学び合いの場を設定し、児童同士の考えや工夫を表現できるようにする。
理科	知識 技能	○身の回りの自然に興味・関心があり、継続的に観察できる児童が多い。 ○実物を見て、細部まで観察し、特徴を捉える力が十分でない児童がいる。	○身の回りの自然や、科学的事象に興味・関心が向くように日常的に言葉かけをしていく。 ○観察の視点を示し、動植物の変化や種類ごとの違いを捉えさせる。
	思考力 判断力 表現力	○実験・観察では十分興味をもち取り組んでいる児童が多いが、ねらいにそつた視点で実験や観察を行うことに課題がある。 ○実験・観察を通しての気づきを既習事項と比較して、文に書いたり発表したりすることに課題がある。 ○実験して分かったことを別の事象に結びつけて考えることを苦手とする傾向がある。	○実験・観察のねらいを明らかにし、何を調べ考えるのかを明確に捉えさせる。 ○何をねらいとして、どんな方法で観察したり実験したりするのかを、正確に捉えさせる。 ○実験して分かったことを日常生活に繋げられるようにする。
音楽	知識 技能	○音楽を形づくっている要素を聴き取ったり、曲想を感じ取ったりすることはできる。聴き取り感じ取ったことや歌詞の内容などとの関わりについて気付いたり、言葉で表したりすることに課題がある。 ○のびのびと楽しく表現することはできるが、呼吸や発音、音色などに気を付けることに課題がある。	○児童が感じ取ったことを基に、リズムや旋律などの特徴や歌詞の内容に目を向けるよう語彙を例示したり、様々な表現方法を試したりし、それぞれの表現の良さを認め合う経験を積み重ねる。 ○互いの音や伴奏を聴き、調和させられるように短いフレーズで表現したり、教師や友達の

	思考力 判断力 表現力	○曲の特徴を意識して聴こうとしたり、聴き取ったことや感じ取ったことを生かして表現したりしようとしている。	演奏を聴き合ったりする活動を取り入れる。 ○一人一人が自信をもって表現することができるようにペア、グループ活動をパターン化し、常時行う。児童の思いやアイデアを認め合い、表現の高まりを教師が具体的に伝え、共有する。
図工	知識 技能	○図画工作に興味関心はあるが、発想の豊かさと、絵を描くことに苦手意識をもつ傾向がみられる。	○工作の授業と授業の間に絵を入れて、絵も工作と同じように楽しんでつくっていくことを体験させる。
	思考力 判断力 表現力	○作る喜びを味わっている様子が見られるが、表現活動全般において、自分なりに表現する力が不十分である。	○児童作品や作家の作品を鑑賞し、感想を伝えることのできる場や、友達の表現から学ぶ場を多く設定する。
体育	知識 技能	○音楽を使って軽快なリズムに乗って体を動かし、運動の楽しさを味わうことができる。 ○走る、投げる、捕る、回るなどの基礎的な技能が十分に身につけていない。	○身体操作感覚を育てる時間を年間通して確保する。 ○日常的に楽しめる運動を授業に取り入れ、運動量を増やし、体力の向上を図る。
	思考力 判断力 表現力	○めあてをもって運動できたり、自分の目標を決めて取り組んだりすることを苦手とする傾向がある。 ○個々の気付きはあるが、それをチーム内で共有し、有効な作戦を立てることに課題がある	○自らのめあてや目標を意識して授業に取り組むようにさせる。 ○作戦を実行するためにチームで話し合ったり、練習したりする時間を設ける。
総合	知識 技能	○「大豆を育てよう」「昆虫博士になろう」「立川市の昔と今を比べよう」の調べ学習では、興味関心をもっている児童が多いが、調べることを決める際に戸惑う様子が見られた。	○自ら課題を発見できるよう、様々な資料に触れさせ、調べ方の方法を理解させる。
	思考力 判断力 表現力	○学んだこと・観察したことから学んだことを生かして、自分の意見や考えに反映し、表現することに課題がみられる。	○学んだ情報を生かし、自分の意見や考えを明確に表現できるようにさせる。
外国語活動	知識 技能	○その単元を学習している時は、習った表現に慣れ親しんでいる。	○年間を通して、身に付けさせたい言葉や表現に触れさせる機会を、授業の中に繰り返し取り入れ、定着を図る。
	思考力 判断力 表現力	○コミュニケーション場面において、どんなことを話したらいいかわからず、友達同士での会話に、自信をもって取り組めないことがある。	○ALTのサポートを受けながら、外国語専科・担任が主体となり、児童の実態に合った学習内容を計画していく。 ○子どもが主体的に興味をもって教材に取り組み、表現できるように授業の中で手立てをとっていく。

第4学年

教科	観点	児童の様子	改善のポイント
国語	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○物語を読むことが好きで、本をよく読む児童が多い。ただ、語彙が不足している児童や漢字が苦手だと感じている児童が多いためか文章を書くことについては個人差が大きい。 ○漢字の読み書き・言葉の理解については、ドリルやテスト等で繰り返し練習、評価しているが、課題が残る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字辞典や国語辞典を積極的に活用し、言葉の意味を調べたり、考えたりすることで、語彙を増やし、漢字の成り立ちなどにも関心をもたせる。 ○ドリルやテスト等で繰り返し練習させる。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の意見を発表できるが、考えたことや伝えたい事などを的確に表現することが課題である。 ○文の中心となる言葉や文にサイドラインを引き、学習しているが、筆者の主張を的確に読み取ったり、要点をまとめたりすることが苦手である。 ○物語文の学習では、熟語の意味を理解して読むことに課題がみられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中心を意識して、話したり聞いたりできるように指導する。 ○文の中心となる言葉や文を使用した要点のまとめ方をくり返し指導する。 ○漢字辞典や国語辞典を活用し、熟語の意味を調べる活動を増やす。
社会	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○校外学習、出前授業など体験的な学習を好む。 ○調べる学習では、意欲的に取り組む児童が多い。 ○資料から必要な情報を自分で選ぶことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○調べてわかったことを分類・整理し、社会的事象の関連をとらえさせ、意味について考える力を育てる。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○調べることはできるが、資料を活用する力が十分ではない。 ○自分で考えたり、まとめたりする力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の読み方をおさえ、分かったことを比較・関連付け・統合して考えさせる発問を行い、考え、説明する力を育てる。 ○自分たちの生活に関連付けて学習したり、具体物・具体的な資料を用意したりして、自分の考えをもたせる指導の工夫をする。
算数	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○四則計算の基本的な計算力は身に付いてきているが、計算のきまりの習得が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計算結果がいくつくらいになるか、見通しをもたせる機会をもち、習慣づける。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○文章題を苦手に思っている児童が多く、計算式の意味と結び付けられていないことが多い。 ○自分の考えを友達に説明することが苦手とする傾向がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文章題の題意が読み取れるように時間を設定し、言葉の意味を丁寧に教える。 ○自分の考えを式や図で視覚化できるように指導し、学び合いの場を設け、言葉による表現力を向上させる。
理科	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○へチマの観察を始め、動植物の観察・飼育に興味関心があり、継続的に観察できる児童が多い。 ○実験に意欲的に取り組み、協力し合ってすすめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの自然や、科学的事象に興味・関心が向くように日常的に言葉かけをしていく。 ○学習したことを楽しさだけで終わらないよう、まとめたり復習したりしていく。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○観察から色・大きさ・形等に着目し、細部まで観察して気付いたことを文に表現することができる。 ○意欲的に実験するが、「なぜ？どうして？」といった、推論・実験・結果を考えたり、説明したりする力を付ける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○何をねらいとして、どんな方法で観察し、実験するのかを、正確に捉えさせる。 ○実験・観察して気付いたことを言葉や文章で発表し合う場の充実を図る。 ○実験して分かったことを日常生活へ繋げ、新たな課題がもてるようにする。

音楽	知識 技能	<p>○音楽を形づくっている要素を聴き取ったり、曲想を感じ取ったりすることはできる。聴き取り感じ取ったことや歌詞の内容などとの関わりについて気付いたり、言葉で表したりすることに課題がある。</p> <p>○楽譜を見て曲を理解し、表現することになれていない。</p>	<p>○児童が感じ取ったことを基に、リズムや旋律などの特徴や歌詞の内容に目を向けるよう語彙を例示したり、様々な表現方法を試したりし、それぞれの表現の良さを認め合う経験を積み重ねる。</p> <p>○楽譜に慣れ親しむ活動や教師や友達の短い演奏を聴き合う活動を取り入れる。</p>
	思考力 判断力 表現力	<p>○曲の特徴を意識して聴こうとしたり、聴き取ったことや感じ取ったことを生かして表現したりしようとしている。</p>	<p>○一人一人が自信をもって表現することができるようにペア、グループ活動をパターン化し、常時行う。児童の思いやアイデアを認め合い、表現の高まりを教師が具体的に伝え、共有する。</p>
図工	知識 技能	<p>○描くこと、つくることに興味・関心を示す児童が多く、意欲的に取り組んでいる。お互いの作品を見せ合う相互交流が多く行われている。</p>	<p>○学習のねらいや活動の流れを提示し、児童が見通しをもって主体的に取り組めるようにする。</p>
	思考力 判断力 表現力	<p>○つくる喜びを味わっている様子が見られるが、表現活動全般において、自分なりに表現することを苦手とする傾向がみられる</p>	<p>○児童作品や作家の作品を鑑賞し、感想を伝えることのできる場や、友達の表現から学ぶ場を多く設定する。</p>
体育	知識 技能	<p>○音楽に合わせて、軽快なリズムにのって踊ることができる。</p> <p>○休み時間、意欲的に体を動かしている児童と室内で過ごしている児童の二極化が目立つ。また、学校生活全体での運動量が少ない。</p>	<p>○身体操作感覚を育てる時間を年間を通して確保する。</p> <p>○年間を通して、持久走やなわとびを日常的に行い、豊富な運動量を確保する。</p>
	思考力 判断力 表現力	<p>○グループで協力してアイデアを出し合って活動できる。</p> <p>○個人のめあてを立てて運動を行ったり、作戦を立ててゲームしたりできるが、グループでの関わり合いという点で課題が残る。</p>	<p>○お互いに励ましたり、助け合ったりする場を増やす。</p> <p>○グループ、ペアなどでの関わり合い、課題の設定や振り返り、まとめる、作戦を立てるなど、伝え合ったり表現し合ったりする場を意図的に取り入れ、言語活動を充実させる。</p>
総合的な学習	知識 技能	<p>○「都道府県の学習」「障害者との交流」など、調べ学習・体験学習に意欲的な児童が多い。</p>	<p>○自ら課題を発見できるよう、様々な資料に触れさせ、調べ方の方法を理解させる。</p>
	思考力 判断力 表現力	<p>○調べたことや交流したことから、学んだことをまとめることができる。</p> <p>○資料や事象から読み取った情報を活かし、自分の意見や考えを明確に表現しようと努力できる。</p>	<p>○2つ以上の資料や事象を比較したり関連付けたりしながら、必要な情報を読み取る活動を多く取り入れる。</p> <p>○資料や事象から読み取った情報を活かし、自分の意見や考えを明確に表現できるようにさせる。</p>
外国語活動	知識 技能	<p>○その単元を学習している時は、習った表現に慣れ親しんでいる。</p>	<p>○年間を通して、身に付けさせたい言葉や表現に触れさせる機会を、繰り返し授業の中に取り入れ、定着を図る。</p>
	思考力 判断力 表現力	<p>○コミュニケーション場面において、どんなことを話したらいいかわからず、友達同士での会話に、自信をもって取り組めないことがある。</p>	<p>○ALTのサポートを受けながら、外国語専科・担任が主体となり、児童の実態に合った学習内容を計画していく。</p> <p>○子どもが主体的に興味をもって教材に取り組み、表現できるように授業の中で手立てをとっていく。</p>

第5学年

教科	観点	児童の様子	改善のポイント
国語	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを意欲的に交流しようとする児童が多い。 ○読書への関心が高い児童が比較的多い。 ○漢字の読み書きの理解について、ドリルやテスト等で繰り返し練習しているが、定着は今後の課題である。 ○語彙が不足している傾向がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日家庭学習で、漢字に取り組む。 ○漢字テストでは、合格点に達するまで繰り返しテストに取り組ませる。 ○国語辞典を積極的に活用し、語彙指導の充実を図る。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」では、自分の意見を発表することができるが、伝えたいことを分かりやすく伝えることが課題である。 ○「書くこと」では、主語と述語にねじれが起きたり、伝えたいことを詳しく書いたりすることが苦手である。 ○「物語文」では、読み取ったことをもとに、自分の考えをもつことができている。 ○「説明文」では、筆者の主張を的確に読み取ることが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」では、中心を的確にし、提示してから相手に伝えることを意識するよう指導する。 ○「書くこと」では、キーワードを明確にさせ、文の技能構造や段落を意識して文章を書けるように指導する。 ○「物語文」では、引き続き、読み取ったことをもとに、自分の考えをもつよう指導し、自分の考えを交流する場を設定する。 ○「説明文」では、文章の構成を捉えさせ、筆者の主張のキーワードとなる言葉を捉えるよう指導する。
社会	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○方位や都道府県等の知識や、地図やグラフ等の資料の読み取りに関する知識量に個人差がみられる。 ○社会科の授業には興味関心があるが、社会事象等に触れる機会が十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の技能的な見方や学び方を示し、個人差に対応する。 ○技能的な知識については、折に触れ繰り返し指導するようにする。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○調べたことを比較したり関連付けたりして考える方法に慣れていない傾向がある。 ○調べたことをもとに、自分の考えをまとめ、表現することに課題がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の中で比較したり関連付けたり総合的に考えさせたりする発問を取り入れる。 ○ノート書き方を工夫し、毎時間の振り返りを書かせることで、学んだことに対する自分の考えを表現することに慣れさせる。
算数	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○四則計算の技能的な計算力は付いてきているが、個人差が大きい。 ○用語の定着に時間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ミニテスト等で技能的な計算を繰り返し練習させ、計算力の定着を図る。 ○授業の中で復習し、問題を数多く解く。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○文章題を苦手に考えている児童が多く、文章と計算式の意味とを結び付けられていないことが多い。 ○自分の考えに自信をもって発表することが消極的な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文章題の題意が読み取れるように指導し、理解が深まるようにしていく。 ○自分の考えを図や表等で視覚化できるように指導し、学び合いの場を設け、表現力を身に付けさせる。
理科	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○観察・実験は意欲的に行っている児童が多いが、目的意識についての課題がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実験の問題を児童から出させる授業を行い、実験の目的意識をもたせる。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題についての解決するための方法や順序についての理解が不十分である。 ○実験をして終わりになってしまい、そこから結論を出すことを苦手とする傾向が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○板書計画、ノート計画を立て、科学的な思考を養うことができるように指導していく。 ○実験、観察の結果を図や表を使ってまとめることに慣れさせ、結果からその意味や規則性を導き出すことができるようにする。
外国語 活動	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の学習をしている時は、その時に習った表現を積極的に使っているが、時間が経つと忘れてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間を通して、身に付けさせたい言葉や表現に触れさせる機会を、繰り返し授業の中に取り入れ、定着を図る。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル教材による聞き取りや歌、インタビューなどの活動に楽しんで取り組んでいるが、単なる活動になってしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ALTのサポートを受けながら、外国語専科・担任が主体となり、児童の実態に合った学習内容を計画していく。

音楽	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽を形づくっている要素を聴き取ったり、曲想を感じ取ったりすることはできる。聴き取り感じ取ったことや歌詞の内容などとの関わりについて気付いたり、言葉で表したりすることに課題がある。 ○器楽演奏に苦手意識をもっている傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽譜を見てリズムや旋律、曲全体の構成などの特徴を確認したり、旋律の重なり方と響きの違いを比較して聴いたりする。 ○易しいリズムや旋律の演奏から徐々に難易度を上げ、継続的に行う。「ペア、グループ」「個人、チェック、教え合い」の活動をパターン化し、基礎的技能を身に付ける。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○曲の特徴を意識して聴こうとし、聴き取ったことや感じ取ったことを生かして表現することはできる。それらを生かし、どのように表現するかについて思いや意図をもつことについては、課題がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人が自信をもって表現することができるようにペア、グループ活動をパターン化し、常時行う。児童の思いやアイデアを認め合い、表現の高まりを教師が具体的に伝え、共有する。
図工	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○工作には興味・関心を示す児童が多いが、絵の方は苦手意識をもっている傾向がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや活動の流れを提示し、児童が見通しをもって主体的に取り組めるようにする。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○表現活動全般において、自分なりに表現することに自信をもてない傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童作品や作家の作品を鑑賞し、感想を伝えることのできる場や、友達の表現から学ぶ場を多く設定する。
家庭科	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○生活体験が少ない児童が多く、製作や実習の内容を説明や板書だけでは十分に理解できない。 ○教科書の内容だけでは、なかなか自分の生活と結びつかないようである。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師の示範により、製作や実習をイメージできるようにし、スモールステップで技能の定着を図る。 ○家庭生活への関心が高まるように、生活と結びついた題材を工夫する。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○学習したことを基に、自分の生活で実践したり、自分の家庭生活をよりよくするための工夫を考えたりすることが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○チャレンジシートを作成し、学んだ事を家庭で実践し、保護者にチェックしてもらうような工夫をする。
体育	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○運動が好きな児童が多く、前向きに、意欲的に活動に取り組むことができる。 ○ボール運動やゲーム学習に意欲的に取り組むことができる一方、柔軟性や技能的な動きについては苦手とする傾向がある。 ○休み時間、意欲的に外で体を動かしている児童と、室内で過ごしている児童の二極化が目立つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○休み時間、意欲的に外で体を動かすよう積極的に声掛けをする。また、クラスレクなど通じて、学級全体で外遊びをする時間を確保する。 ○授業前のストレッチや、学習につながるような、体が慣れるような動きを取り入れ、柔軟性や身体操作感覚を養うことができるようにする。 ○年間を通した行間体育に取り組ませ、豊富な運動量を確保する。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○グループで協力して活動することができないことがある。 ○グループ、ペアなどでの関わり合いが不十分なために、課題の設定や振り返りができない場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○作戦を立てるなど、グループでの活動を取り入れ、お互いに励ましたり、助け合ったりする場を設定する。 ○お互いに見合ったり、アドバイスをしたりするなど、グループで取り組む場を設定する。 ○個人のめあてをもたせることで、課題を意識させる。また、学習や振り返りの場を設定する。
総合的な学習	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマをもとに、興味や関心を持ち、自分の課題を設定することができる。 ○必要な資料を収集し選択する態度を育てていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題解決に必要な資料を自分で見つけられるよう、学習に見通しをもたせ、情報収集や選択できる場面を設定する。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○2つ以上の資料から比較したり、関連付けたりすることが難しい。 ○資料から読み取ったことに対して、考えをもつことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○2つ以上の資料から、必要な情報を読み取り、関連付ける活動を多く入れていく。 ○資料から読み取った情報を生かし、学習や生活につなげて考えていく機会を設けていく。

第6学年

教科	観点	児童の様子	改善のポイント
国語	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○語句や表現方法の学習に関心をもって取り組んでいる。 ○意欲をもって漢字学習を行い習熟しているが、日常的に使おうとする意識は十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日常的に読書活動を行い、様々な語句や表現に触れさせ、辞書を活用して語彙を豊かにする。 ○作文や日記など繰り返し学習する教材を利用し、漢字を使う場を増やし、漢字の定着化を図る。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えをもつことはできるが、相手を納得させるための本文中の根拠を見付けることが苦手である。 ○自分の考えや思いを書くことはできるが、進んで発表することには課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○選択肢を用意したり、根拠となる文を見付けるためのキーワードを提示したりする。 ○ペアや小グループでの発表の機会を増やし、自分の言葉で伝えることができる力を養う。
社会	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の読み取りの力が身に付いてきている。 ○歴史に興味をもって学習しているが、知識の獲得に個人差が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史にはつながりがあるので、つながりを明確にし、既習する単元の前と関連させながら授業を行っていく。 ○歴史を体験的に学ぶことができるように資料提示や体験的な授業を増やしていく。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○知識をもとに自分の考えを表現することに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の中で一問一答形式だけの発問だけでなく、オープンエンドな発問を多くし、自分の考えを表現する活動や、歴史上の人物の関係性を表す活動を取り入れていく。
算数	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○公式を覚え、使うことができる。 ○既習のわり算や小数の計算の仕方を忘れている場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○算数ベーシックドリルや宿題で基礎基本の計算の仕方を振り返らせる時間をとり、計算力を向上させる。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○既習事項を使って、問題解決することに課題が見られる。自分の考えを表現することが十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題解決の手だてとして、図や表の活用ができるように時間の設定をする。児童同士で説明し合う時間を確保し、理解を深めさせる。
理科	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○実験方法を理解できる児童が多く見られる。 ○実験の目的意識が低い傾向が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実験の問題意識を児童から出させる授業づくりを行い、実験の目的意識をもたせる。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的な知識を理解している児童は多い。実験で思考が終わってしまい、日常化することに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実験から学んだことが日常生活にどのようにつながり、生かされているのかを考えさせる。 ○実験、観察の結果を図や表を使ってまとめることに慣れさせ、結果からその意味や規則性を導き出すことができるようにする。
外国語活動	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○習った表現を繰り返し使いながら、その表現に慣れ親しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間を通して、身に付けさせたい言葉や表現に触れさせる機会を、繰り返し授業の中に取り入れ、定着を図る。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーション場面において、自信をもって発話できないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ALT のサポートを受けながら、外国語専科・担任が主体となり、児童の実態に合った学習内容を計画していく。 ○子どもが主体的に興味をもって教材に取り組み、表現できるように授業の中で手立てをとっていく。
音楽	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽を形づくっている要素を聴き取ったり、曲想を感じ取ったりすることはできる。聴き取り感じ取ったことや歌詞の内容などとの関わりについて気付いたり、言葉で表したりすることに課題がある。 ○歌唱については、呼吸や発声に気を付けて響きのある声で表現することができるが、器楽演奏に苦手意識をもっている傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽譜を見てリズムや旋律、曲全体の構成などの特徴を確認したり、旋律の重なり方と響きの違いを比較して聴いたりする。 ○易しいリズムや旋律の演奏から徐々に難易度を上げ、継続的に行う。「ペア、グループ」「個人、チェック、教え合い」の活動をパターン化し、基礎的技能を身に付ける。

	思考力 判断力 表現力	○曲の特徴を意識して聴こうとし、聴き取ったことや感じ取ったことを生かして表現することはできる。 それらを生かし、どのように表現するかについて思いや意図をもつことについては、苦手とする傾向がみられる。	○一人一人が自信をもって表現することができるようにペア、グループ活動をパターン化し、常時行う。児童の思いやアイデアを認め合い、表現の高まりを教師が具体的に伝え、共有する。
図工	知識 技能	○工作には興味・関心を示す児童が多いが、絵の方は苦手意識をもっている傾向がみられる。	○学習のねらいや活動の流れを提示し、児童が見通しをもって主体的に取り組めるようにする。
	思考力 判断力 表現力	○表現活動全般において、自分なりに表現することに自信をもてない傾向がある。	○児童作品や作家の作品を鑑賞し、感想を伝えることのできる場や、友達の表現から学ぶ場を多く設定する。
家庭科	知識 技能	○5年生の時の学習内容がしっかり身に付いている児童が多く見られるが、説明や板書だけで理解できない場合がある。 ○教科書の内容だけでは、なかなか自分の生活と結び付かないようである。	○教師の示範を見せることにより、製作や実習を自分のものとし、イメージできるようにする。 ○製作の時間を意図的に設定し、練習の機会を設ける。 ○なるべく生活と結びついた題材を取り上げることで、家庭生活への関心が高まるようにする。
	思考力 判断力 表現力	○学習したことを元に、自分の生活で実践し、自分の家庭生活をより良くするための工夫を考えることに課題がある。	○チャレンジシートを作成し、学んだ事を家庭で実践し、保護者にコメントをもらうような仕組みを作る。
体育	知識 技能	○器械運動などの動きはよくできている。さらに、身体操作感覚を育てていく必要がある。	○身体操作感覚を育てる時間を体づくり運動などを計画的にとり、年間を通して感覚を養っていくことができるようにする。
	思考力 判断力 表現力	○作戦や動きを考えながら運動している。 ○技能ポイントを理解し、自分の課題をもって授業に取り組めるようにしていく必要がある。	○体育ノートを活用し、自分のめあてをもって学習に取り組み、また振り返りをする中で、さらに自分の課題を把握できるようにする。 ○運動のポイントを明確にし、自分の課題を解決する道筋を児童が自ら見付けられるような授業づくりをする。
総合的な学習	知識 技能	○課題解決に必要な資料を図書資料やインターネットを使い収集することに慣れてきている。	○課題解決に必要な資料を自分で見付けられるよう段階的に指導をし、学習に見通しをもたせる。
	思考力 判断力 表現力	○調べたことと自分の考えを関連付けて、まとめることが難しい。	○調べたことだけで終わらないよう、自分の考えを書く機会を設定する。